

標 題 : Olive oil phenolics are dose-dependently absorbed in humans  
オリーブ油のフェノール成分はヒトで用量依存的に吸収される

---

著 者 : F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬理学研究所)

---

掲 載 誌 : FEBS Letters 468: 159-160 (2000)

---

要 旨 :

オリーブ油のフェノール成分は強力的な生物学的活性に恵まれ、抗酸化作用が含まれるがそれに限定されないと、示された。

現在まで、ヒトにおけるそのような化合物の吸収および処理に関する情報は無い。

オリーブ油のフェノール成分、つまりチロソールおよびヒドロキシチロソールはヒトで摂取後に用量依存的に吸収され、そして尿中にグルクロニド抱合体として排泄されると、我々は報告する。

さらに、フェノール成分の投与量増加で、グルクロニドとの抱合の比率が高まった。

キーワード : オリーブ油、フェノール、アテローム性動脈硬化、地中海食事、抗酸化物  
ヒドロキシチロソール

---